

第 19 期 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

平成30年 6月22日

宮崎市中村東2丁目8番12号
宮交ショッピングアンドレストラン株式会社
(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	356,800	流動負債	747,424
現金及び預金	115,835	買掛金	173,221
未収金	133,390	短期借入金	351,424
商品	92,488	未払消費税	99,173
貯蔵品	5,342	未払消費税	37,846
前払費用	3,546	未払法人税等	59,860
その他の流動資産	315	未払引当金	1,713
繰延税金資産	6,697	預り金	5,573
貸倒引当金	△ 816	賞与引当金	14,129
		リース負債	4,483
固定資産	1,170,511	固定負債	778,536
有形固定資産	1,093,078	長期借入金	419,022
建物	376,033	退職給付引当金	24,477
構築物	118,742	リース負債	7,569
構築物	32,652	資産除去債	9,718
機械及び装置	27,481	長期未払金	317,748
車両運搬具	668		
工具器具備品	50,471		
土地	464,453		
庭園	10,521		
リース資産	12,052		
無形固定資産	2,740	負債合計	1,525,960
電話加入権	2,031		
ソフトウェア	365	【純資産の部】	
その他の無形固定資産	344	株主資本	1,351
投資その他の資産	74,692	資本金	50,000
長期前払費用	2,161	資本剰余金	353,811
その他の投資	72,530	資本準備金	353,811
破産更生債権	124,776	利益剰余金	△ 402,460
貸倒引当金	△ 124,776	その他利益剰余金	△ 402,460
		繰越利益剰余金	△ 402,460
資産合計	1,527,312	純資産合計	1,351
		負債・純資産合計	1,527,312

(個別注記表)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

会社計算規則に基づき計算書類を作成している。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

株主資本等変動計算書の表示に関する会計基準

「株主資本等変動計算書に関する会計基準」(企業会計基準第6号 平成17年12月27日)及び「株主資本等変動計算書に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第9号 平成17年12月27日)を適用している。

3. 資産除去債務に関する注記

当社は、店舗の不動産賃貸契約を締結しており店舗の退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として計上している。

資産除去債務の見積りにあたり、使用期間は契約(2店舗)から10年及び13年間、割引率は、1.049%及び0.973%を採用している。

4. その他の注記

(1) 重要な会計方針

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・商品・・・先入先出法による原価法。
- ・貯蔵品・・・先入先出法による原価法。

② 固定資産の減価償却の方法

建物については定額法、その他の有形固定資産については、主として定率法によっている。

ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっている。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。これによる損益に与える影響は軽微である。

③ 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金・・・売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- ・賞与引当金・・・従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上している。
- ・退職給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見積額に基づき、当会計期間末において発生していると認められる額を計上している。

④ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

⑤ 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

⑥ 会計処理の変更

有形固定資産の減価償却の方法

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法へ変更している。

⑦ 資産除去債務に関する会計基準

「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用している。

(2) 貸借対照表注記

有形固定資産の減価償却累計額 539,424千円

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

当会計期間における発行済株式の種類および株式数

普通株式 800株

5. 当期純損益金額

当期純損失 102,841千円